



東中学校だより

第12号

＜学校生活の合言葉＞

平成 31年2月22日(金)

気づき 考え 実行する

校長 新井 智明

北本市立東中学校

〒364-0004 北本市山中2-128

TEL048-592-3145 FAX048-592-3149

「泥を肥やしに咲く花」の教え

愛知県西尾市にある浄名寺に松原^{しやうれん}紗蓮という尼僧さんがいます。彼女は、2歳7か月の時にこの寺に預けられました。幼い頃に両親は亡くなったと聞かされ、親代わりの庵主様や、世間様の「お寺の子はいい子だ」という期待の中で育ちました。

同級生からはその逆に、お寺の子であることや、実の親のないことをからかわれ、酷い苛めを受けてきましたが「どんな時も前向きでいよ」という庵主様の教えを守り、泣き出したくなる気持ちを必死に堪えながら幼少期を過ごしました。

張り詰めていた神経の糸が切れたのは、中学2年の時です。役所にある書類を提出する際、庵主様から「実はねえ」と言っ、て、出生の秘密を打ち明けられたのでした。聞けば、両親は彼女が幼い頃に離婚し、母親が再婚する際、娘の彼女をお寺へ預けたというのです。自分は生まれてきてはいけない存在だったんだ。一体何を信じて生きてきたのだろうか？

事実を知った彼女は、頑張るということに疲れてしまいました。

そして3か月間泣き通した後、彼女が選んだ道は、髪の毛を金色に染めて、耳にピアスの穴を開け、あらゆるものに歯向かい、強がって見せることでした。暴走族の仲間たちと一晩中走り回り、家出を繰り返す毎日。14歳で手を出した薬物はその後7年間、1日としてやむことがなく、自分など消えてしまえ、という思いから、幾度となく自傷行為を繰り返しました。

心配をした庵主様は、彼女が20歳になった時に「最後の賭け」に出たといいます。彼女を京都の知恩院へ21日間の修行に行かせ、そこで尼僧になる決意をさせようとしたのです。金髪のまま無理やり寺へ押し込められた彼女は訳が分からず、初めのうちは反発ばかりして叱られ通しでした。ところが10日目を過ぎた頃、教科書に書かれてある仏様の教えが、読めば読むほど、庵主様の生き様そのものと重なることに気づいたそうです。

例えば「忍辱(にんにく)」という禅語があります。彼女がグレっていた7年間、普通の親であれば間違いなく音を上げてしまうような状況で、庵主様はただひたすら耐え忍んでくれたのだ。それは親心を越えた、仏様の心というものでした。また道場長から「少欲知足」という言葉を教わり、「髪の毛や耳のピアスなど、自分を着飾る物すべてを取り払っても、内から輝けるようになりなさい」と言われました。人間は無駄な物の一切を削ぎ落とした時に、初めて自分にとっての大事なものが見え、本当の生き方ができるようになるのだというのです。

彼女はふと、庵主様の生活を思い浮かべました。庵主様はお洒落もしなければ、食べる物にお金を掛けたりもしない簡素な暮らしで、他の楽しみに時間を使うこともなかった。ではその分、一体何に時間を使っていたか。

そう考えた時に、庵主様はすべての時間を「私を育てる」という一事に使ったのだと知ったそうです。彼女の思いの至らなかつた陰の部分では、どれだけ多くの方が自分を支え続けてくれたことか、御仏の光に照らされ、初めて親のお陰、世間様のお陰に手を合わせずにはいられなくなりました。そして教科書を読み進めれば進めるほど、止めどもなく涙が溢れてきました。修行の後、お寺に戻った彼女が庵主様に、なぜ自分を叱ったり、本当の気持ちを聞かせてくれなかつたのかと尋ねたところ、庵主様は

「人間は、時が熟さなければ分からないことがある。ひと月前のおまえに私がどれだけよい言葉を聞かせても、かえって反発を生むだけだった。いまおまえが分かるということは、おまえに分かる時がきたということだ。仏道は待ちて熟さん」とお話しになりました。庵主様には1つの願心があり、彼女がグレ始めた14歳の時に、10年間は黙ってこの子を見守ろうと決めたのだといいます。

そして自らには、何があっても「平素のように生きよ」と誓いを立てたということでした。彼女はいわば、お釈迦様の手の平の上で暴れていた孫悟空のようなもので、自ら命を絶とうと人生に背を向けていましたが、どこまでいっても結局は庵主様の手の平の上にあった。庵主様が自分を慈しんでくださる心は無限に広大で、私はその大きな大きな慈悲の中に生かされていたのだと知ったそうです。

23歳で剃髪出家をした時、彼女は庵主様に「紗蓮」という法名をいただきました。後にある方から

「美しい蓮の花は、泥まみれの池の中にしか咲かないのだよ。人生にも、悩みや苦しみはあって当たり前で、その泥を肥やしにしてこそ大輪の花が咲くのだ」と教わりました。振り返れば、14歳から20歳までのどん底の時代が、30歳を過ぎた彼女にとってはまたとない、よい肥やしになったと感じているそうです。

非行に走る子供たちはそれぞれに、人に言われぬ苦悩を抱えています。けれども、だからこそ大きな可能性を秘めている。人一倍光るようになるよ、この子供たちは――。彼女はいつもそんな気持ちで子供たちのことを見守っているそうです。

誰もが少なからず苦悩を抱えながら生きています。今、辛い、苦しいと感じている人は、大輪を咲かせる前の肥やしを与えられている時かも知れません。

※エッセイ「泥を肥やしに咲く花」参照

☆松原紗蓮(まつばら・しょうれん=浄名寺副住職)昭和52年生まれ。2歳7か月で西尾市にある浄名寺の養女となる。中学時代不登校になり悩んだ日々を過ごす。21歳で京都に修行に出され、人生の転機を迎える。23歳で剃髪、浄土宗の僧籍をいただく。現在は、お寺の法話・学校などの教育講演や各種講演会の講師を務める。

☆3月の行事予定

日	曜	行 事 等	下校時刻
1	金	県公立高校実技検査・面接	17:30
2	土		—
3	日		—
4	月	表彰朝会(3年最終表彰) 授業変更②③④⑤①	17:30
5	火	県公立高校追検査 授業変更⑤⑥③④ 3年生を送る会準備 部活動なし	16:30
6	水	3年生を送る会(3年給食なし) 部活動あり	17:30

7	木	県公立高校入学許可候補者発表(3年) 安全点検・学校生活アンケート・自転車点検	17:30
8	金	県公立高校入学許可候補者発表	17:30
9	土		—
10	日		—
11	月	各種委員会・評議会(最終回) 授業変更②③④⑤①	15:10
12	火	卒業式予行準備(2年) 授業変更⑥⑤④③②①	17:30
13	水	卒業式予行 先輩から学ぶ会(2年) 3年給食最終日	17:45
14	木	授業変更水③④①② 卒業式準備	16:10
15	金	第47回卒業証書授与式	11:30・11:50
16	土		—
17	日		—
18	月	1年保護者会 水曜日課 学校公開日	17:45
19	火	2年保護者会 木曜日課 学校公開日 給食最終日(1,2年)	15:00
20	水	期末短縮 学年朝会(1,2年) ふれあいデー	15:00
21	木	春分の日	—
22	金	期末短縮 球技会(1年)	15:00
23	土		—
24	日		—
25	月	期末短縮 球技会(2年)	15:00
26	火	修了式	11:30
27	水	学年末前休業日	
28	木		
29	金		
30	土		
31	日		

※地域への「東中学校だより」は、生徒代表の「地域交流大使」がお届けいたします。
また、東中学校ホームページに掲載しています。

教育百景

地域清掃ボランティア活動(2.16)



家庭科調理実習(2年生)

